



H7N9 深圳で本年 3 例目の患者報告 活禽購買歴あり

中国国家应急广播

www.cneb.gov.cn 2017-02-27

15:57

来源: 国家应急广播网综合

国家应急广播网深圳 02 月 27 日電 (記者: 楊振) 02 月 27 日、深圳市衛生計生委は 2017 年度全市第三例目となる H7N9 患者を報告した。(宮本注: この発表タイミングは、2017 年 02 月 21 日の『CHP リスト (CHP への報告は 2 月 12~16 日までの間に確定診断・発表されたものとなっている事実がある)』からすると、深圳市による市民への発表が 27 日であったという事実は、相当遅れて出されていることに注意が必要です)

患者は;

81 歳男性の蔣*さん。

2017 年 02 月 06 日 19:30 分に深圳市第三人民医院に転送されてきた。

発症前には、活禽を購入しており、対症療法を経て、02 月 15 日に三度の検査で陰性となり隔離を解除された。

情報によれば、深圳市の疾病管理部門は、病院や家庭、診察を受けた診療所などに消毒が実施されたという。同時に、現場の疫学調査を通じて、濃厚接触者を探しだして医学観察を実施するも、観察の期間中に発熱や咳などの症状は見られなかった。

また、これに先んじる 2017 年 01 月には、深圳市では既に H7N9 患者 2 名が報告されている。

第一例目の患者は、

33 歳男性で、2016 年 12 月 12 日に上海から深圳市に出張していたが、活禽を飼育していたレストランで鳥の肉を食べていた。

第二例の患者は、

34 歳女性で、深圳市龍崗区布吉街道に在住していたが、発症前には農貿市場への暴露歴があった。

上述患者 2 名は、既に治癒退院しているが、二人の濃厚接触者 81 名は、2017 年 02 月 15 日まで全員に異常が見られず、既に医学観察を解除されている。

ヒト感染 H7N9 インフルエンザは、一種の急性気道感染症で、発熱やのどの痛み、咳などの気道感染症の症状が主となり、進展が速いと重症肺炎化し、死に至ることもある。潜伏期間は、多くが一週間以内であり、主に、H7N9 インフルエンザウィルスを携帯した鳥類動物に接触することで感染する。これまでのところヒト~ヒト間伝播のエビデンスは得られていない。

深圳市衛計委は、市民に対して: 極力活禽とは接触しないこと、生鮮鳥類食品は加熱してから食用すること、関連従業員は、職業上の健康防護に勤めること; 春季は伝染病の多発期になっており、良好な個人衛生習慣を養い、必要となる個人の健康防護をしっかりとすることが重要であるとしている。

<http://www.cneb.gov.cn/2017/02/27/ART11488181110315193.shtml>

Shenzhen reported The Third case of H7N9 Avian Flu in This Year

China National Emergency Broadcasting Shenzhen Feb. 27 (Reported by Yang Zhen):

On Feb. 27, 2017. Shenzhen city's HFPC reported the third case of H7N9 avian flu.

(Miyamoto's note: Though this announcement was opened to public on Feb. 27, this information was already listed in CHP Hongkong on Feb. 21. The CHP_rpt_27/02/17 says the case(s) were reported to CHP on Feb. 16 as the cases were diagnosed from Feb. 12 to 16. It means that Shenzhen city's announcement toward the public was so late.)

The Patient is, Mr. Jiang, 81-year-old male. He was transferred to The Third People's Hospital of Shenzhen on Feb. 6, 2017 (19:30) and had purchased a live poultry before onset of the disease. After the symptomatic support treatment, the results of three virus tests was negative, his isolation treatment was removed on Feb. 15.

According to sources, CDC of Shenzhen city has carried out terminal disinfection work at hospital, the patient's home, clinics, etc. At the same time, through the on-site epidemiological survey, his close contacts in the medical observation showed no ILI symptom such as fever, cough and other discomfort.

Before January, Shenzhen city has reported two cases of H7N9 avian flu.

The first case, a 33-year-old male, came from Shanghai to Shenzhen on business trip on Dec. 12, 2016. He had visited a restaurant and had eaten the live poultry where live birds were farmed. The second case, a 34-year-old female, living at Buji street in Longgang district had exposure-history at the farmer's market.

The above 2 cases were cured and discharged already. They had 81 close contacts in total. Before Feb. 15, 2017, as all the close contacts showed no ILI symptoms, all have been removed their medical observation.

..... 以下は中国語原文

深圳报告今年第 3 例 H7N9 流感病例 发病前曾购买活禽

中国国家应急广播 www.cneb.gov.cn 2017-02-27 15:57 来源：国家应急广播网综合

国家应急广播网深圳 2 月 27 日消息（记者杨振）2 月 27 日，深圳市卫计委通报了 2017 年全市报告的第三例 H7N9 流感疫情病例情况。患者蒋某，男，81 岁，于 2017 年 2 月 6 日 19 时 30 分转入深圳市第三人民医院，发病前曾购买活禽，经对症支持治疗后，已于 2 月 15 日前三次检测转阴，解除隔离。

据介绍，深圳市疾控部门已在医院、住家、就诊诊所等疫点开展终末消毒工作。同时通过现场流行病学调查，界定密切接触者，在医学观察期内均未出现发热、咳嗽及其他不适。

而在此前的 2017 年 1 月，深圳市已报告两例人感染 H7N9 流感病例。

第一例病例，男，33 岁，于 2016 年 12 月 12 日从上海至深圳出差，曾到饲养了活禽的餐馆进食禽肉。

第二例病例，女，34 岁，现住龙岗区布吉街道，发病前曾有农贸市场暴露史。

上述 2 例病例均已治愈出院，两例病例共涉及 81 名密切接触者，截至 2017 年 2 月 15 日，所有密切接触者均无异常情况，现已结束医学观察。

人感染 H7N9 流感是一种急性呼吸道传染病，临床以发热、咽痛、咳嗽等呼吸道感染症状为主，可快速进展为重症肺炎，病情严重可导致死亡。该病潜伏期多在一周内，主要因接触携带 H7N9 流感病毒的禽类动物而感染。目前尚无人间传播的证据

深圳市卫计委提醒市民：尽量不要接触活禽，生鲜禽类食品要熟透后食用，相关从业人员要做好职业健康防护；春季为传染病多发季节，要养成良好的个人卫生习惯，做好必要的个人健康防护。

20170227A H7N9 深圳で本年 3 例目の患者報告 活禽購買歴あり(中国国家应急广播)